

第2節 自然環境質の現況と評価

自然環境の現状をは握する方法としては、森林面積や鳥獣の生息数などのように数量的には握が可能なのがあるが、自然環境の質といったものは握はその事柄の性質上これを計量化することには困難が多い。

しかし、本計画においては可能な限り自然環境をトータルなものとしては握するという観点から、植物、動物及び景観についてそれぞれの現状をは握しこれを指数化することとした。

地 帯 区 分 別

地 帯	地 帯 の 特 性	主 な 植 生
沿 岸 地 帯	海洋の影響が大きく、内陸地帯に比べて温暖である。	タブノキ 林 砂浜植物群落 塩生植物群落 アカマツ 林 ケヤキ 林 イヌシデ 林 海崖植物群落 モミ・イヌブナ 林
平 野 地 帯	仙北平野と仙台平野に分けられる。そのほとんどは、水田や畑地などの耕地になっている。	ハシノキ 林 マコモ群落、ヨシ群落などの挺水植物群落 水生植物群落 ヨシ、オギ、マコモ群落 クサヨシ群落、ヤナギ河辺林などの河辺植物群落
丘 陵 地 帯	平野の水田地帯から標高 300 メートル内外の地域、県土のほぼ中央部を占め、やや温暖な冷温帯気候に支配されている。	モミ・イヌブナ 林 コナラ・クリ 林 アカマツ 植林 スギ 植林 ウラジロガシ 林

1. 植 物

本計画においては、第3章の自然環境の現状をは握する方法として、自然環境の質といたものは握はその事柄の性質上これを計量化することには困難が多い。

〔植 生 図〕

植生図からみた本県の自然環境の現状をは握しこれを指数化することとした。また、地帯別自然環境の現状をは握しこれを指数化することとした。と、次のとおりである。

植 生 状 況

植 生 の 成 状
冬季の季節風から守られる砂浜 入江になっている浅瀬 断崖の多い浅土の磯浜 } 岩礫地 海蝕崖 上記以外の比較的自然的な地形
農家の屋敷の周辺や水田の沼沢地 池や沼の周辺部、河川の洲 池や沼の中央部 河川の洲 中河川の川べり
自然が最も良く保護された地域 伐採された後に二次的に自然回復した地域 やや乾燥し易い、斜面下部や河川下流部 やや湿潤な斜面下部や河川下流部 暖温帯域で自然が最も良く保護された地域